

ザ・写真館

<http://www.shashinkan.com>



協同組合日本写真館協会会報

Vol.79

2013年5月5日発行

経済産業大臣認可中小企業協同組合
Professional Photographers of Japan



第2回 プロフォトゼミナール 2013

日本大学芸術学部にて



セッションB (実技)「ポートレート」編

講師：矢吹 尚也氏 (北海道/矢吹写真館) (左)

講師：原田 辰之氏 (熊本県/写真館原田) (右)



会場の様子 1つの教室に2つのスタジオセットが併用された

講師の五右衛門「白粉屋」矢吹氏による撮影実演の様子

ライティングの説明 光を削っていく様子を捉えている

矢吹氏による撮影の様子

前半は矢吹氏の講義。最初の写真の定義について説明がなされた。写真は、エネルギーを視覚的に識別できる画像であるとされている。昔から人間は、何かを画像として捉え、伝えたいという思いがあったと思う。スクリーンに陶淵明の演説を映し出し「たったこれだけの情報量で四季の景色が全部表れており、写真的だと感じました」と。また、謝靈運の「拝讀して光り留め難し」という一節を取り上げ、光を留めておくという感覚が千年以上の昔から伝わっていること、この感覚は写真にとって重要だと述べた。その後、影響を受けた古今東西の著名な写真家のポートレートを解説。中でも印象的だったのは、すべて偶然に敬意を払い、何かが起るのを望んでいること、瞬間の対応が大事なことで、1人のポートレートの背景に大生もの誕生からの繋がりがあること、そして、自身もこれらを意識して撮影しているのだと語られた。

続いての実技は、メインとバックグラウンドの2灯での撮影。会場の照明はすべて消すよう指示が出された。光を見ようとするところ位の暗さが必要になるとのこと。また、被写体の人物を暗い中でしばらく黙って放っておくと、だんだんと自分の世界に入っていくので、意識し

ておもしろそうという。

ライティングでの一番のポイントは、光を二段階に切っているところ。落とすところは落とす。ライトカッター等で削っている感覚。奇麗に撮る目的だったら、レフで囲んで、ライトボックスを近づけて、1段オーバーくらいで撮ればものすごく綺麗に撮れると思うのだが、それによって消えるものも大きいと思う。その他、LED1灯でもポートレートを仕上げることが可能だということも実践された。

原田氏の講義は、タングステンライトでの撮影。タングステンは光を定めていく道具だと言う。キーライトは、入れるのと入れないのとでは大違いで、ハイライトの出方がすべて奇麗になる。1人の場合はフロントライトを使わないが、髪が髪に当たる女性などは、手前下側から補助光を入れる。バックグラウンドライトは写真を立体に見るために、メインとの兼ね合いで明るくとも暗くともこの構成している。気をつけているのは人物の目の大きさで、小さい方を奥側にするのと余計に大きく見られるので、手前側。また、黒い服なら体がライト側に向くように、白い服だったら反対に。ただし、それが100%ではなく、綺麗に見えるところを撮るのが一番だとのことだ。

最後に必ずカラーチャートは写し込む。ちなみに、氏は単焦点レンズを主に使用するが、少し遠いのでタリンプトフューザーというフィルターを常用しているそう。モアも消えやすくなると思う。実技に関してコンピュータでのワークフローの解説もなされた。まずチャートのグレーを読み込み、彩度を少し上げて現象。現像時に多くは白いらない。Photoshop上でもチャートの黒と白を読み取り、レベル補正でバランスを整え、色濁りをとる。次に肌を健康色にするために、顔を囲んで特定色域の選択で赤みを抑える。最後に修整を施してプリントアウト。モノクロの作成についても解説していた。やはりは、新規レイヤーを作って黒で塗りつぶし、描画モードをカラーに変換する。この方法の良いところは情報の手入れが少ないこと、レイヤーの色の数値を覚えておけばすぐに好みの色に変換できることだそう。

このセッションでは、お二人から異なる撮影方法を教えていただいたが、加えて、スタジオポートレートに限らず、ロケや静物にも通ずるお話しも聞くことができ、ご両者の撮影のお話も聞かされた方も学べる充実の時間となった。

広報部：矢内朝志



普段のメインは正方形なのでモニターでカットしているが、高さはこちら



左目が小さかったら、この向きにしている



原田氏による撮影の様子 必要に応じて手前下側からレフを使って補助光を

個人ページ vs Facebookページ

個人ページ	Facebookページ
登録期間不可	登録期間可
友達の申請	いいね!
最大Facebookユーザー	ネット上一般公開
検索はプロフィールのみ	検索機能あり
広告には対応しない	ニュースフィード広告
インサイト無し	インサイトでアクセス分析
人脈、セラフ仲間ディング	ホームページ、ブログ

Facebookの役割を理解する

- ・ホームページ：固定の情報掲載、検索にヒット、近隣店検索
- ・店舗情報：Googleプラス
- ・Twitter：お客様と1日の情報発信
- ・Blog：お客様とのコミュニケーション、分単位の情報発信
- ・Facebook個人アカウント：人とのつながり、口コミ
- ・Facebookページ：写真館のお客様とのコミュニケーション
- ・メールマガジン：チラシと同様の効果
- ・LINE：ショートメッセージでWEBチラシの配布

Facebookの種類を理解する!

個人アカウントとFacebookページの違い
個人アカウントではセルスしない!

Facebookページ

- グループ
- 公開、非公開、秘密の3種類
- ニュースフィードに表示されるのは友達、フンドに繋がった個人ページ
- いいね!したFacebookページ
- 参加しているグループ
- 更新情報が表示される

Facebookの登録と質をつける点とは?

- ・メールで友達検索しない!
- ・友達へのメール招待解除方法 http://www.facebook.com/invite_history.php
- ・プライバシー設定
- ・基本情報を入力しよう!
- ・基本情報はあなたが伝わるように!
- ・カバー画像とプロフィール写真
- ・お知らせプロフィールを省略する!



中嶋講師を紹介する岡本 真氏

セッションC 「写真館のためのSNS」編

写真で集客するFacebook活用

講師：中嶋 茂夫氏 (株式会社中嶋商店 代表取締役
阪南大学客員講師 社団法人 全日本LPD協会理事)



- ・友達を検索で探そう!
- 個人情報を守るためのプライバシー設定
- 写真館のFacebookページを作ろう!
- 反応のある写真投稿とは?
- 「投稿」「いいね!」でコミュニケーション!
- ・友達をリストで整理
- Facebookページの作成
- <http://www.facebook.com/page>
- ・実店舗はスポットから登録
- ・iPhoneのFacebookアプリ 付近の情報の登録
- ・Facebookページは1分で出来る
- 「Facebookページ」のタイトルが重要!!!
- ・店舗名、商品名、見込み客が検索する言葉
- ・チェックインをタップ
- ・ポスタンをタップ 今どこにいる?
- ・追加をタップで登録完了
- ・スマホでスポットのオーナー申請をする
- 所有者の方をご存知ですか?をタップ
- ・企業名、住所は公共料金住所と同じにする
- ・店舗：チェックイン&写真投稿!
- モバイル端末でチェックイン&写真投稿が表示される
- ↓
- ・友達にロコミ友!
- ・チェックインクーポン専用メニューを作る
- 投稿しよう!
- ・友達が増えすぎると...
- ・30人以上の友達になると...
- 「友達」の個人ページがニュースフィードに非表示
- 「いいね!」したFacebookページが
- ニュースフィードに非表示
- ↓
- 投稿に「いいね!」「コメント」されないとダメ!
- ・Facebookページでは...
- 「いいね!」「コメント」がつか投稿をすべし!
- 写真と文章で投稿すると目立ちやすい
- 「つっやみやすい投稿」を心がけよ!
- ・Facebookの投稿
- 誰か一人に向けて投稿をする!!!
- ⇒「自分」に興味を持ってもらう
- ⇒人とつながる!
- ⇒高亮は人とつながりが基本!
- お客様が興味を持ちそうな写真を投稿する!!!
- ⇒会社と商材に興味を持ってもらう
- ⇒Facebookページのレビュー読者作り
- ⇒ファンになればお客様は購入する!
- 集客1：作ったあとが重要!!!!
- 読まれない投稿には意味がない!
- 毎日1回の更新を基本
- 顧客に問いかけ
- コメントが付きやすい投稿
- いいね!が付きやすい投稿
- シェアしてもらいたい投稿
- 顧客とのコミュニケーション欲しくなったお客様は買う
- 集客2：Facebook広告を作る
- 場所、年齢
- 興味、趣向
- 会社、大学
- 1クリック単価、1表示単価



実際にページを開いて説明する中嶋講師



いいね!を付けられるFacebookページ作り

広報委員：秋元正之